

最終目標・結果の指標 KGI	目標を達成するための過程を測る指標 KPI	
1. RevPAR (エリア全体の収益増加・シーズンリティの平準化) ⇒データの提出	①宿泊者満足度 ②宿泊者数(現状データあり) ③既存&新規事業コンテンツ創出数 ④公共空間の利活用&維持管理の状態 ⑤温泉街景観の形成、修景の進捗 ⑥オフシーズンコンテンツの創出数	②① TOP 10 メディア 露出 (にっぽんの温泉100選)
2. 新規事業創出 (既存&新規事業者による新たなそぞろ歩きコンテンツの増加) ⇒実地調査	⑦外湯の利用者数と消費額 ⑧温泉街に出た宿泊者数 ③既存&新規事業コンテンツ創出数 ⑨外部人材と地域のマッチングハブ人材が存在するか ⑩ハブとなる拠点が形成されているか	
3. 生産年齢人口 (雇用を生む、働く世代が住む) ⇒統計の確認	③既存&新規事業コンテンツ創出数 ⑪子育て世代が住みたくなる住宅供給がされているか ⑫リタイア世代の豊かな働き方が実現しているか ⑬エリアの雇用者数 ⑭エリアへの移住者数	
4. 従業員満足度 (日本一働きたい温泉地になる) ⇒従業員アンケート	③既存&新規事業コンテンツ創出数 ⑮従業員の利用回数が多いコンテンツがあるか ⑯正社員比率	
5. 地域主体経営状況 (エリアに再投資し持続的に魅力向上を図る体制と財源) ⇒地域主体へのヒアリング	⑰地域の動きや可能性の情報発信がされているか ④公共空間の利活用&維持管理の状態 ⑱関係人口、コミュニティの形成 ⑲エリアを担う地域主体の存在と事業収支の黒字化	

課題(足りていないもの)

- ①魅力的(必要)なコンテンツの検討
- ②白地エリアへの誘致
- ③暮らし(住人・従業員)の充実
- ④オリジナルコンテンツの開発



実施する内容

- ①コンテンツ等検討体制構築
- ②事業者誘致の強化
- ③事業化支援の強化
- ④新しい働き方・暮らし方の提案
- ⑤飲食コンテンツ開発
- ⑥アクティビティコンテンツ開発
- ⑦文化コンテンツ開発

戦略会議
構成員戦略会議
構成員
+
外部
メンター